

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社  
(以下「ディズニー」という)  
第七回ディズニー・チャンネル放送番組審議会  
議事録

開催日時 : 2006年10月27日(金) 17:30~19:00  
開催場所 : 東京都港区麻布台 2-4-5  
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社  
ウォルト・ディズニー・テレビジョン・インターナ  
ショナル ジャパン  
スタジオ・ディズニー会議室

在任審議委員数 : 7  
出席審議委員数 : 5  
出席審議委員氏名 : 加藤 諦三(議長)  
木下 美子  
中川 眞也  
前田 耕作  
柳生 純麿

その他、ディズニ : エディー・カックス  
ーからの出席者 (バイス・プレジデント/編成部)  
新井 康子  
(スケジューリング・マネージャー/編成部)  
待鳥 雅之  
(コンプライアンス・スーパーバイザー/編成部)

- 議案**
- 1) ディズニー・チャンネル及びトゥーン・ディズニーの  
番組編成・改編について
  - 2) ディズニー・チャンネル及びトゥーン・ディズニー放送番組について  
(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にVHSテープを送付  
した。)  
「ポストマン・パット」  
「ラマだった王様 学校へ行こう！」  
「シークレット・アイドル ハンナ・モンタナ」  
「パワーレンジャー ロストギャラクシー」

**審議の概要**

- 1) ディズニー・チャンネル及びトゥーン・ディズニー番組編成について  
ディズニー・チャンネル及びトゥーン・ディズニーの番組編成・改編について

説明がされ、下記のとおり意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

- 今回の番組編成の改編では、まず、週末のディズニー・チャンネルに、新たにプレイハウス・ディズニーの枠が設けられた(7月以降～)。理由としては、平日は就学児がプレイハウスの番組を見ることが出来ないため。
- 『ポストマン・パット』『シークレット・アイドル ハンナ・モンタナ』が新たに放送される。
- トゥーン・ディズニーについては、JETIXの枠を7時間に拡大した。
- 人気があるからか?
- 夜8時台など、大人まで含めた視聴者に対応するため。
- 『パワーレンジャー』を新たにラインナップに追加。朝7時台に放送中。(早朝にもJETIX枠を設けた。)
- ディズニー・チャンネルとトゥーン・ディズニーで重複している番組は?
- 両チャンネルを差別化するため、現在はごくわずかである。
- 二つのチャンネルのそれぞれのターゲット視聴者層とは?
- ディズニー・チャンネルは6～14歳の女の子の視聴者層が厚く、コンテンツもアニメーション、実写ドラマ、映画と幅広く扱うチャンネル。トゥーン・ディズニーは、男児対象のアクションや「お笑いの」要素を含む番組が多い。
- 実写ドラマシリーズの人気映画にも波及してきている。相乗効果が生まれている。
- 『スイート・ライフ』の森久美子さん出演のエピソードが高視聴率を獲得。夏に放送された『パイレーツ・オブ・カリビアン』に匹敵。
- このように、『スイート・ライフ』の成功例などを通じて 実写ドラマが徐々に浸透し、認知が深まっている。
- 海外ドラマの認知度が上がり、視聴者が Sit-Com に慣れてきているのでは?
- 『ハイスクール・ミュージカル』については、頻繁に再放送しているが、根強い人気を誇る。
- 5歳の孫が歌を覚えた。
- こういったストーリーが流行る、ということは、人々の心が普通に戻って

きたということであろうか。

2) ディズニー・チャンネル及びトゥーン・ディズニー放送番組について

ディズニー・チャンネル放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

『ポストマン・パット』について：

- 以前は地上波で放送されたこともあり、日本でも馴染みのある作品。  
この作品のテーマには、家族、思いやり、食育などがある。  
また、昔ながらの手書きでの手紙の素晴らしさを広めよう、というのもこの作品のテーマのひとつ。
- 手が込んでいる感がよく伝わってくる。
- 日本のポストとの相違がある、文化のちがいをドラマから見取るというのは重要では？ 人が協力し合って物事を成し遂げる、というのはテーマとしては良い。
- ほのぼのして良い。
- 12分前後という放送時間は、テレビを見る時間を制限して、子供の生活にリズムを与えるためにはベストかも知れない。

『ラマだった王様 学校へ行こう！』について：

- 最近制作された『バーバリアン・デイブ』や『アメリカン・ドラゴン』等と比較すると、アニメーション作品の中では、最もディズニーらしい作品。  
また、この作品の大事な要素としては、ディズニーらしく、音楽が挙げられる。
- 絵の描写のタッチが、アラジンの世界に似ている。
- ととにもぎやかなアニメーション。

『シークレット・アイドル ハンナ・モンタナ』について：

- 14歳のアイドルの女の子マイリー。父親は彼女のマネージャーで、兄は、お茶目（ちょっぴりおバカな）普通の高校生で彼女の邪魔ばかりする。
- 放送開始から2週目にして、既により反響を得ている。
- ディズニー・チャンネルの新たなティーンアイドル的存在？
- バカバカしいが、おかしい、というシチュエーションが面白い。

『パワーレンジャー ロストギャラクシー』について：

- 現在、朝の時間帯のみ放送中で、来年には新しいシリーズも放送予定。  
米国では、全シリーズ合せて過去に何回も放送された。  
届いたファンレターの数も膨大で、絶大な人気を誇る。
- 視聴対象に対して、放送時間が少々遅いのでは？ 朝 7:30~8:00 台は通学時間なのでは？
- こういうストーリー性がある作品は、どうしても見入ってしまうのではないだろうか？

・その他の作品等について：

- 一般的に、視聴者は多少刺激の強いものを望むのか？
- 最近の傾向として、それが見られる。 ディズニー作品としては、珍しくハチャメチャ感が若干強い『ブランディ&Mr. ウィスカーズ』の人气が、そのいい例である。
- その一方で、プレイハウス・ディズニー枠では、『ポストマン・パット』のような大人しくてほのぼのした作品でも視聴率は取れるのか？
- プレイハウス・ディズニーの作品は、平均して高い視聴率が取れる。
- プレイハウス・ディズニーの枠は、親が見ていて安心。だからこそ子供に見せられる。
  
- 小さい子が対象なのに、『アートアタック』の工作は少々、難易度が高い。
- 実は海外では、この番組のターゲット層が上目に設定されている。  
小さい子向けには、プレイハウス・ディズニー枠内で、サホとヨースケの「アートパーティー」というコーナーがある。

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので 19:00 に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。